

「新しく生まれなければ」  
ヨハネの福音書 3章1節～16節

中心聖句「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません」(3:3)

### はじめに

イエス・キリスト様が初めて公に人々にお語りになったことばは、何だったのでしょうか。それは「悔い改めなさい。天の御国は近づいたから」であったと、マタイの福音書は伝えています。イエス様は、「天の御国」あるいは「神の国」を説かれました。では、イエス様の説かれた「神の国」とは、どのようなものだったのでしょうか。

### 1 神の国とは。

神の国は、神が直接ご支配なさる国であり、神を信じる者の群で、領土はありません。神の国は、キリスト教会のことです。

#### (1) 人種、身分、性別、貧富などの差別がない。

使徒パウロは、神の国をこう教えました。「ユダヤ人も、ギリシャ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって一つだからです」(ガラヤ3:28)。

**適用：**神の国は、イエス様がお出でになってから世界中に広まり、世界人口の3分の1はキリストを信じる者、つまり神の国の一員です。昔は、キリスト教は、ヨーロッパ、アメリカの宗教と言われていましたが、今は、アジア、アフリカ、南アメリカなど世界中に広がり、有色人種のクリスチャンの方が多くなってきています。お隣の韓国では、人口の3分の1がクリスチャンであり、中国には日本の100倍くらいのクリスチャンがいると言われています。

#### (2) 神の国は、義と平和と喜びに満ちた国。

使徒パウロは、「神の国は飲み食いのことではなく、義と平和と聖霊による喜びだからです」と教えました(ローマ14:17)。当時のローマのクリスチャンの中に、間違った考えの人がいて、肉を食べ、ぶどう酒を飲むような生活こそ神様に祝福された生活で、そのような生活を目指すべきだと主張する者

がいたようです。しかし、パウロは神の国の特徴は、そのような飲食ではなく、「義と平和と聖霊による喜び」だと教えたのです。

**神の国は、義です。**それは人間の欲望や悪ではなく、正義が支配する国なのです。

**神の国は、平和です。**イエス様は「平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるから」と言われました。(マタイ 5:9) 聖書は、「すべての人との平和を追い求めなさい」と教えています(ヘブル 12:14)。

**神の国は、聖霊による喜びです。**私たちの日々の生活では、喜べないこともあるでしょう。しかし、信じる者には「聖霊」をお与えくださり、「聖霊による喜び」に満たしてくださるのです。

## この項の結論

このように、神の国は、人種、身分、性別、貧富の差のない、義と平和と聖霊に喜びに満ちた国なのです。

## 2 神の国に入る条件は、新しく生まれること。

### (1) ニコデモ。

イエス様の所に、ニコデモという人がやって来ました。

この人は「パリサイ人」でした。パリサイ人は、厳格に神の律法を守り、定期的に断食する宗教的な人でした。

この人は「ユダヤ人」でした。ユダヤ人は、神に選ばれたアブラハムの子孫で、自分たちは他の人種と違い、神に選ばれた特別な民と考えていました。

彼は「指導者」でした。恐らくエルサレムのサンヘドリンと呼ばれる最高議会の議員と思われます。

そして、イエス様に好意的でした。

このように、真面目で宗教的で、人々に信頼され、イエス様に好意的な人であり、神の国に入るには最も資格のある人のように思えました。

### (2) 新しく生まれなければ、神の国を見ることはできない。

では、なぜニコデモのような人でも神の国に入ることが出来ないと、イエス様は言われたのでしょうか。

イエス様は「肉によって生まれた者は肉です」と言われました。つまり、この世に生まれた者は、つまり、新しく生まれていない者は「肉」だと言われたのです。

肉とは、「罪の中に死んでいる」ことを意味します。それは「この世の流

れに従い、自分の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、生まれながら御怒りを受けるべき者」なのです（Ⅰペリ2:1-3）。

心は信頼出来ない。ある人は、信仰など持たなくても、自分の心をしっかり持てば大丈夫と考えています。

例話：しかし、エレミヤという人はこう言いました。「人の心は何よりも陰険で、それは直らない。だれがそれを知ることが出来よう」（Ⅰエリヤ 17:9）。

使徒パウロは、「私には、自分のしていることがわかりません。私は自分がしたいと思うことをしているのではなく、自分の憎むことを行っているからです」と言いました（Ⅰコリ7:15）。

自分のことも完全に分かるわけではない。詩篇の記者は「だれが自分の数々のあやまちを悟ることが出来ましょう。どうか隠れている私の罪をお赦してください」と祈りました（詩篇 19:12）。

「神の国に生きるために、神の国に生まれなければならない」と、イエス様は言われたのです。

例話：友人からビオレの種が送られて来ました。それをプランターに蒔くと芽が出ました。それを庭に植えると増えて、何百という花を咲かせました。小さな種はいのちがあるので芽を出します。しかし、小石はいくら植えても芽はでません。いのちがないからです。

クリスチャンとして成長するために必要なのは、神のいのちです。いのちがあれば成長します。いのちがなければ、何年聖書を読み、教会に通ってもクリスチャンとしての成長は望めません。

### 3 どうすれば、新しく生まれることができるのか。

#### (1) 水と御霊によって生まれる (5)。

ここで強調されているのは、「御霊によって」です。このことは、6節を見れば明らかです。つまり、新しく生まれるのは、人間の働きではなく、神の御霊の働きなのです。私たちは、自分で自分を生むことは出来ません。この世に生まれて来るときも、父と母によって生まれます。同じように、神の国に生まれるのも、御霊の働きによるのです。

#### (2) 御子イエス・キリストを受け入れ、その名を信じる者は、神によって生

まれる（1:12-13）。

聖霊は、私たちの心に働き、主のみことばに聴き、イエスを主と告白させていただきます（使徒 16:14-15 I コリ 12:3）。そして、イエス様を信じ、受け入れるときに、私たちは「新しく神の子として生まれる」のです。

（3）どのようにして新しく生まれるかは、理解できなくてもよい（8）。

イエス様は、風の例えを使って、私たちがどのようにして新しく生まれるのかは、理解出来なくてもよいと言われました。理解出来なくても、信じれば、新しく生まれるのです。

## 招き

神の国は、素晴らしい国です。その豊かさは、人間が作り出せないものです。そこに入るには、私たちの善い行いも、宗教的な熱心さも、人種的優位さも、親がクリスチャンだとしても、新しく生まれなければならないと、イエス様は言われました。

そして、神様の御霊だけが、私たちを新しく生まれさせるのです。それは、イエス・キリストを信じる時に起きるのです。

いま、必要なのは、イエス・キリストを信じて新しく生まれることです。その時に、神の国のすばらしさ、豊かさを体験出来るのです。

もうすでにイエス・キリストを信じている人は、新しく生まれています。しかし、まだイエス様を救い主として信じていない方は、いまこの場でイエス様を信じるなら、新しく神の国に生まれるのです。信じる決心をしたら、コイノニア・カードにその決心を書いてください。あなたが確信を持てるように、牧師が指導します。